

通信小海

愛が冷えた時代

牧師 水草修治



夫婦口論の末、母親が赤ん坊を三階の窓から放り出したとか、中学一年生が妹の頭と顔をバットで殴り大けがをさせたとか、虐待に耐えかねた弟が兄貴を刺殺したとか、息子が父を撲殺し母も殺し爆破したとか、ニュースを聞くのが怖いほどである。

今日ほど、愛ということばが氾濫している時代はないのではないかと、ときどき筆者は思う。恋愛とか人類愛とか子育てにおける愛情の必要とか、愛・愛・愛としきりに強調されている。それほど愛が強調されるのに

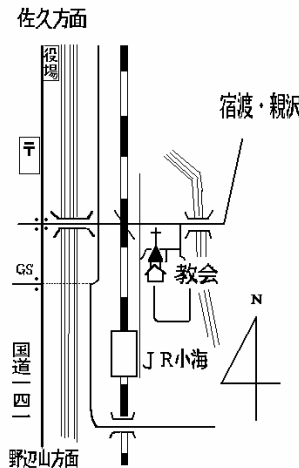
「今月の御言葉」
「愛は神から出ているのです。愛のある者はみな神から生まれ、神を知っています。」
第一ヨハネの手紙四章七節

反比例して今日ほど愛の冷えてしまった時代はないのではないか。ある人たちは、そういう愛の冷えた時代だからこそ、愛を強調すべきだというだろう。それも一理ある。しかし、私は主イエスのひとつの御言葉につきあたって、いやむしる変に「愛」を強調するので、愛が冷えてしまっているのではないかと考えるようになった。

その主イエスのことばとは「不法がはびこるので、多くの人たちの愛は冷たくなります。」である。これは現代人にとつては意外なことばかもしれない。というのは、現代人は愛と法、愛と正義とはなんの関係もないと考えがちだからである。たとえば妻子ある男が、別の女に心惹かれた場合、それを我慢するより感情のままに、妻子を棄て女のもとに走るのが愛と呼ばれたりする。しかし、これは言葉の誤用である。そういう行動は、正しくは愛ではなく姦通というのである。

日本同盟基督教団小海キリスト教会 牧師 水草修治
会堂・牧師館 南佐久郡小海町大字小海四三三五 二七
千三八四一一 二二 二六七九二四七七六
カンパ宛先 千振替0530 0 61683

見晴台の教会へどうぞ



集会あんない

日曜日 サンデースクール 午前八時四五分

朝礼拝 午前十時から十一時半

夕礼拝 午後八時から九時

水曜日 祈り会 午前十時半と午後七時半

*海尻・川上で毎月家庭集会あり。

*個人的な聖書勉強や個人的なご相談にも乗ります。

ほんもの愛は、偽りや裏切りの上には育たない。ほんとうの愛は正義の友なのである。感情はたいせつなものだが、感情は最優先にされるべきものではない。

その伝からいえば、愛情は結婚の土台ではなく、むしろ結婚が愛情の土台なのである。愛しているから結婚するのでなく、結婚しているから愛すべきなのである。実際のところ、感情というものはデリケートすぎて家庭を支えるには不安定すぎる。神と法に支えられた結婚制度という堅固な土台の上に、愛情を徐々にそして豊かに築いていくというのが聖書的に正しい順序なのである。そつでなければ、いつ破綻するかしれない家庭の中で子どもたちはいつも不安でいなければならぬ。いつも不安な環境に置かれていて安定した人格に成長することはとてもむずかしい。

結婚制度は、神が創造のはじめにお定めになったものである。だから、神との関係をないがしろにして、家庭に愛を育むことはできない。なぜなら、神こそ愛であり、愛は神から出ているからである。

福音指圧教室に

どうぞ



いよいよ本格的な夏！夏はさっぱりしたものがかり食べたくなりますが、夏ばて防止には、ビタミンB1豊富なゴマがいいそうです。なんにでもかけたり合えたりして食べましょう。

そして、指圧。お気軽にお越しください。「指圧のこころ母心」の浪越出の先生が教えてくださいます。

七月十日(日) 午後二時から三時半

持ち物: バスタオル、タオル、靴下

無料です

信州から野宿者支援

山梨県白州町で野宿者自らによるジャガイモづくりは順調に進んでいます。このまま天候不順に遭うことがなければ、今月三十日に芋掘りの予定です。掘った芋は炊き出しの食材に用いるだけでなく、「山谷夏祭り」でもジャガバタにして振舞いたいと計画中です。

また、未使用の割り箸・切手もお願いしています。

*活動報告書「ひびき」は高原のパン屋さんと教会に置いてあります。

山谷農場新事務局(藤田 寛)

小海町芦谷ヒルサイドコーポ1 二号室

毎週金曜・土曜はあります。

電話090・1436・6334

〒370-0427 06・200808

メール nyoro@beige.ocn.ne.jp

カンパ行振替 一四 四 五三七九六

新聞を読むように



「聖書は深遠な哲学の本だろつから、自分にはちよつと無理でしょう。」とか、「聖書は永遠のベストセラー文学というのだから、これを読むには文学的センスがいる。」とか、「聖書は宗教書なのだからそういう心構えで読むべきでしょう。」とか、いろいろなことを言う人がいます。

けれども、ある著名な神学者は言いました。「聖書は新聞を読むように読むべきである。」と。「あつそうか。」と私は驚き、そして納得しました。哲学も、文学も、宗教書も、みな「こつあればいいなあ」とか「こつあるべきである」とか、人間の頭や心の中で考えたり瞑想したりしてひねりだしたものです。つまりそれは理想であったり、願望であったりしますが、いずれにせよフィクションです。作り話です。でも

新聞はちがつ。新聞は事実を伝えることを任務としています。

昔、私が中学生の頃、小松左京の『日本沈没』という本がベストセラーになったことがありました。映画化もされました。けれども、誰一人として日本から逃げ出した人はいなかったし、それで被害に遭った人もいませんでした。なぜですか。それがいかに巧みに臨場感たつぷりに書かれていても、フィクションにすぎないからです。

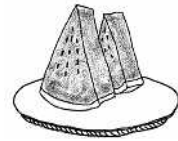
けれども、もし信濃毎日新聞に、「気象庁の発表によれば、七月十日正午前後、浅間山が大噴火するので、周辺住民は緊急に避難するように。」という記事が掲載されたら、それこそ大騒ぎでしょう。役場も動き、住民も相当数が避難するでしょう。なぜですか。それは新聞は事実を告げるものであるからです。フィクションは知らなくても、読んだことがなくても、人生にたいした影響はありません。けれども、事実とは恐ろしいものです。事実というものは、たとえその事実を知らなくても、私たちの生活に決定的な力を及ぼしてくるのです。「今朝たまたま新聞は読まなかったから、俺は浅間山の噴火とは関係な

い。」などというわけにはいきません。もし浅間大噴火予報という報道が事実であれば、本人が、その記事を読もうと読むまいと、信じようと信じまいと、浅間山は噴火し、登山などすれば命を失うことになります。

聖書は新聞を読むように読むべきであるというのは、聖書が事実を告げることばであるからです。聖書は言います。「(神の目から見たら)義人はいない。一人もいない。悟りのある人はいない。神を求める人はいない。すべての人が迷い出て、みな、ともに無益な者となった。善を行なう人はいない。一人もいない。」しかも聖書は次のように断言します。「人には一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっている。」かりにこのことばを無視しても、あなたは確かに死後さばきを受けます。

しかし、また、聖書はつぎのようにもう一つのすばらしい事実と約束をも告げているのです。「キリストは自分から十字架の上で、私たちの罪をその身に負われました。」ですから、「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます。」

勉強、教えます



週に一度、水曜日、中学三年生に勉強を教え始めたから、これがなかなかおもしろい。英語を教え、社会の勉強の仕方を教えているが、そのうち国語も。今まで勉強の仕方が具体的にわからなかったらしく、こうすればいいんだよと教えてあげるとさっそくその気になってやっているから、伸びる。これからどこまで伸びるかが楽しみである。

筆者は、かつて東京池袋のM予備校の大学受験クラスで現代文・古文・漢文を担当していた。授業を受ければほとんどの学生は、あるところまで劇的に伸びる。国語の場合、多くの受験生は、出題者の意図を理解せず、勘で答えているからムラができる。出題意図を把握すれば、あるところまで伸びるのは当然である。しかし、その

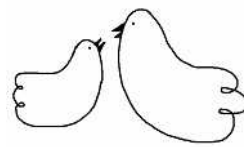
先は本人の読書と経験から来る思考力によるので、一朝一夕で伸びるわけには行かない。また中学三年生に英語を教えたときもつんと伸びた。今の中学教科書は短文会話体だが、高校受験では長文があるので、文章を、文法をふまえて正確に読む練習をしないと太刀打ちできない。そのためには良質の英文を構造を把握してコツコツ読み、その速度を上げていくトレーニングが必要である。

学業不振は劣等感を生み、劣等感はときに非行の要因になる。学問はスポーツの一種で、トレーニングの苦しみを乗り越えるとおもしろくなる。学生は学に生きたと書くのだから、勉強から逃げてはいけない。何事であれ、逃げるクセがつくと、人生はつまらなくなる。

そこで、中学生高校生の塾を開くことにしました。中学三年生には英語と国語。高校三年と浪人生には現代文・古典と小論文。他の科目も勉強の仕方など、相談に乗りましょう。時は水曜と土曜の午後。ただし少人数のみです。電話でご相談ください。(電話 92 4776)

結婚式はリエックス

で 93 2218(担当 中村茂樹)



誓約のことは

「はい。わたしは神の教えにしたがって、夫としての分を・妻としての分を果たし、その健やかなるときも、病めるときも、富めるときも、貧しきときも、 さんを愛し、敬い、慰め、助けて変わることなく、このいのちのかぎり、堅く節操を守ることとを神と証人の前で誓います。」

この誓いのことばを一言一言よく味わって、実行するとすれば、まちがいはなく幸福な家庭ができます。そういう中身のある結婚式をしてさしあげたいと願っています。